

備前市事務事業評価表

事務事業名	道路等新設改良事業（吉永）		コード	担当課係	吉永総合支所産業建設課管理係
			01-01-11-06	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	道路			
	施策	市道の整備促進			

事業について	
目的	吉永地域内の幹線道路及び生活道路の整備を進めることにより、産業活動の円滑化、日常生活の利便性及び道路交通の安全性の向上を図る。
対象（誰のために）	道路利用者及び付近住民
内容	吉永地域内2路線約0.2kmの改良、3路線約0.1kmの舗装の実施。内改良工事費の1部は18年度へ繰越。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など（単位）	回数など（単位）	回数など（単位）
改良延長	300 m		
橋梁改築	1 橋		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	45,966	国庫補助金等	15,070	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,965	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	49,931	市債	34,861	合計	0	市債	0

必要人員	0.60	人		人
結果指標①	結果指標名	改良延長		
	結果指標量	300		
	単位	m		
	対前年比	0.00%		
結果指標②	結果指標名	橋梁改築		
	結果指標量	0.10		
	単位	橋		
	対前年比	0.00%		

事業の成果	17年度	
成果指標名	早倉線改良進捗率	式又は説明
成果指標量	37.30	実施済事業費（81,000千円） /計画事業費（217,000千円）
到達目標値	100	到達目標年度
		H19

（平成17年度事業）

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	吉永地域内の市道橋についてはS50年代又はそれ以前に新設、架け替えられており、耐加重、耐震等の最近の規格に見合わないものが大半である。また、市道についても合併前の最低基準の3m幅員が多く、最近の車両の大型化に対応できていないのが現状である。これらの未規格市道を計画的に整備していく必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民の関与の妥当性	工事費については国庫の基準に基づいて実施されるためコスト削減は困難な面がある。
	コストの効率化	
	手段の最適化	
有効性の評価	職場の効率化	道路は市民の生活に必要不可欠のものであり、地元等と協議の上積極的に道路整備の推進をしておく必要がある。
	目的達成度	
	成果向上の可能性	
市民参画度		

総合評価	コメント	評価区分
	道路は産業活動、市民の生活に必要な不可欠のものであり、快適で安全な道路整備を計画的に行っていく必要がある。	<A~E> B

今後の方向性	翌年度結果指標量①	結果指標量②
<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	300m	0.9 橋
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	目標値	成果指標量 80

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。